

第4章 重点プロジェクト

4. 1 重点プロジェクトの構成

(1) 重点プロジェクトの考え方

本計画では、目指す環境の将来像「未来に続く、緑と水あふれるほっとするまち 調布—私が守る地球、私が育む調布の自然と暮らし—」の実現に向け、5つの基本目標を掲げ、基本目標実現のための23の施策を位置付けています。計画期間内に特に重点的に取り組む主要な事業等について、重点プロジェクトとして位置付け、計画的かつ効率的に施策の成果向上につながるよう実行していきます。

なお、新規事業については、調布市基本計画をはじめとした関連計画との整合性や市の財政状況などを踏まえ、実施します。

(2) 重点プロジェクトの選定基準

調布市では、本計画で掲げた環境の将来像を実現するため、計画期間内に特に重点的に取り組むべき主要課題について、以下の選定基準によって施策・事業を抽出し重点プロジェクトとして位置付けます。

<重点プロジェクトの選定基準>

- 1 時代背景を踏まえ、緊急性があり、かつ、優先的な取組が必要である事業
- 2 市民から強く求められている事業（社会的な要請が強い事業）
- 3 事業効果が高い事業
- 4 市民・市民団体・事業者・市の連携・協働により推進される事業



重点プロジェクト① 市民の心の安らぎ 緑と水を守るプロジェクト

重点プロジェクト② みんなで目指す 環境先進都市プロジェクト

重点プロジェクト③ みんなが主役 環境を学んで楽しむプロジェクト

(3) 重点プロジェクトの構成

本計画の実現のためには、前章の基本目標のもとで示された方針ごとに掲げられた施策・事業を着実に進める必要があります。このため本計画では、特に重点的に取り組むべき横断事業について、第3章の施策・事業から抽出し、重点プロジェクトとして位置付け、事業の推進を図ります。

施 策		重点プロジェクト		
		① 市民の心の安らぎ 守るプロジェクト 緑と水を	② みんなで目指す 都市プロジェクト 環境先進	③ みんなが主役 楽しむプロジェクト 環境を学んで
基本目標1	1-① 緑の保全	●		
	1-② 水循環の回復と水環境の再生	●		
	1-③ 都市農地や里山 [§] 環境の維持・保全	●		
	1-④ 生物の生息空間の保全	●		
	1-⑤ 多様な自然環境の活用			
基本目標2	2-① 景観形成の推進			
	2-② 歴史・文化環境の保全・継承			
	2-③ まちのうるおいの創出			
	2-④ 都市美化の推進			
基本目標3	3-① 大気汚染の防止			
	3-② 水質汚濁の防止			
	3-③ 騒音・振動の発生抑制			
	3-④ 化学物質等の対策の推進			
基本目標4	4-① 脱炭素 [§] 型ライフスタイル・ビジネススタイルの普及		●	
	4-② 再生可能エネルギー等の利用推進		●	
	4-③ スマートシティの実現		●	
	4-④ 気候変動への適応		●	
	4-⑤ 3R [§] の推進によるごみの減量		●	
	4-⑥ ごみの適正処理			
基本目標5	5-① 環境意識の醸成			●
	5-② 学びと活動体験機会の充実			●
	5-③ 活動の担い手となる人材育成と活動支援			●
	5-④ 様々な主体と活動の環 ^わ の拡大			●

4. 2 重点プロジェクトの概要

プロジェクト① 市民の心の安らぎ 緑と水を守るプロジェクト

概要

国分寺崖線をはじめとする緑や、多摩川、野川等の河川、崖線などから湧き出る湧水、そこに生息・生育する多様な生きものは、調布市を特徴づける豊かな自然環境を形成しています。これらは調布市で生活する私たちにとって、かけがえのない貴重な環境資源であるため、将来にわたってこの豊かな環境を守り、継承していく必要があります。

このことから「市民の心の安らぎ 緑と水を守るプロジェクト」を重点プロジェクトとして定め、調布市の自然（緑と水）を守る取組を行います。

目標

- 1 調布の特徴であり、かけがえのない環境資源である貴重な緑と水を引き続き保全します。
- 2 豊かな緑と水により、多種多様な生きものの命の育みを守ります。

重点事業

【施策1-①】緑の保全

●崖線樹林地^s等の保全管理 (p. 30)

国分寺崖線等、貴重な環境資源の保全に努めるとともに、市民・事業者等の自主的な環境保全活動を通じて、各主体との協働による維持管理に努めます。

●協働による緑の保全のための仕組みづくりの検討 (p. 30)

調布の貴重な緑の保全について、市民・事業者等の自主的な環境保全活動のみならず、各主体との協働に向けた仕組みづくりを検討していきます。

●崖線樹林地の保全管理計画の策定と見直し (p. 30)

市民・事業者・市が協働して緑の保全に取り組むため、崖線樹林地の保全管理計画の策定・見直しを行います。

【施策1-②】水循環の回復と水環境の再生

●雨水浸透施設・雨水貯留施設の設置及び雨水利用の推進 (p. 33)

地下水の涵養^sや下水道施設への雨水流入負荷軽減を図るため、雨水浸透ます^s・浸透トレンチ^sの設置及び雨水貯留施設などの設置や雨水利用を推進します。

【施策1-③】都市農地や里山^S環境の維持・保全

- 深大寺・佐須地域農の風景育成地区における農の風景を継承する取組の推進 (p.37)
令和2(2020)年7月に指定した「深大寺・佐須地域農の風景育成地区」を自然環境資源の保全・活用の重点地区として設定するとともに、農の風景を継承するモデル地域として先導的事業を展開し、地域の環境保全・活用を図ります。

【施策1-④】生物の生息空間の保全

- 自然環境や生物調査の実施・把握と結果の公表 (p.40)
市内に生息・生育する生物について、市民や専門家と協力して調査を進めるとともに、調査により把握した情報を市民・専門家・環境活動団体と共有し、生物多様性の保全に役立てます。

プロジェクト②

みんなで目指す 環境先進都市プロジェクト

概要

近年、これまでに経験したことのない猛暑や豪雨、台風の強大化、それに伴う自然災害の発生、熱中症リスクの増加や農作物の品質低下など、気候変動によると考えられる影響が全国各地で生じており、その影響は調布市にも現れています。このような気候変動には地球温暖化が大きく影響しているとされ、私たちの日常生活や事業活動に伴う環境への負荷が地球温暖化の要因となっています。このため、まちづくりの視点から災害に備えつつ脱炭素^s化を目指した取組を推進する必要があります。

このことから「みんなで目指す 環境先進都市プロジェクト」を重点プロジェクトとして定め、地球温暖化に伴う気候変動の緩和と適応に向けた取組を進めます。

目標

- 1 省エネ・節電行動を市民・事業者・市が積極的に行うとともに、再生可能エネルギー由来の電力の選択等を進めていきます。
- 2 進行する地球温暖化に伴う気候変動の適応への取組を進めます。
- 3 貴重な環境資源を維持・保全するとともに、生産・流通・廃棄の過程で発生する二酸化炭素排出量の削減を図るため、更なるごみの発生抑制に取り組みます。

重点事業

【施策4-①】脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルの普及

●東京都等の補助事業に関する情報提供 (p. 67)

東京都地球温暖化防止活動推進センター（クール・ネット東京）等が実施している家庭向け・事業所向けの再生可能エネルギー、省エネルギーの補助事業等の広報を行い、再生可能エネルギー、省エネルギーの普及啓発を図ります。

●住宅の省エネルギー化事例の効果の把握と情報発信 (p. 67)

省エネルギー機器を導入した住宅における省エネルギー効果について情報発信し、市民への啓発を行います。

【施策4-②】再生可能エネルギー等の利用促進

●再生可能エネルギーの比率の高い電力調達の検討 (p. 72)

市の施設で使用する電力について、再生可能エネルギーの比率の高い電力を調達することを検討します。

●再生可能エネルギー由来の電力の選択に関する普及啓発 (p. 72)

東京都『『みんなでいっしょに自然の電気』キャンペーン』等、再生可能エネルギー由来の電力を選んで購入する取組に関する普及啓発を、東京都と協力して進めます。

【施策4-③】スマートシティの実現

- 調布駅周辺での自立分散型エネルギーシステム[§]の導入検討 (p.75)
調布駅周辺の地域エネルギー利用効率化に向けた検討を進めます。
- 民間と連携したシェアサイクル[§]の実証実験と本格導入に向けた検討 (p.75)
二酸化炭素をほとんど排出しない交通手段の一つである自転車利用の促進に向け、民間事業者と連携したシェアサイクルの実証実験を継続し、本格導入に向けた検討を進めます。

【施策4-④】気候変動への適応

- 市ホームページ、SNS、調布FM等による環境情報発信 (p.78)
市ホームページ、SNS、調布FM等により、地球温暖化及び気候変動に関する市民、事業者への情報提供を行います。
- 水害対応に関する個別計画の策定と対策実施 (p.78)
近年想定を超える豪雨など異常気象が頻発していることを踏まえ、浸水被害軽減に向け、今後も想定される水害等に対し、浸水シミュレーションに基づき内水想定区域を把握するとともに、浸水対策に関する個別計画を策定し、対策を実施します。

【施策4-⑤】3R[§]の推進によるごみの減量

- 食品ロス削減に関する普及啓発 (p.83)
食べ残しや未利用食品といった「食品ロス」の削減に向け、家庭でできる対策やフードドライブの取組等について市民への普及啓発を進めます。
- CHOFUプラスチック・スマートアクションの推進 (p.83)
調布市としてプラスチックごみの減量や海洋流出防止に繋がる市独自の取組を実践するため、職員による率先行動や市民・事業者と一体となった行動により、プラスチックごみの減量やプラスチックごみの海洋流出防止に繋がる取組を積極的に進めます。

プロジェクト③

みんなが主役 環境を学んで楽しむプロジェクト

概要

現在の環境保全活動は、市民・市民団体・事業者等で構成される「ちょうふ環境市民会議[※]」が中心となり、市と連携・協働して取組を進めてきました。今後はこの活動の環を^わ広げていくため、児童・生徒等、特に若い世代に対する環境教育及び環境学習の充実を図り、調布市の次世代における環境保全活動の担い手として育成していく必要があります。また、より良い環境を目指すため、調布市の環境に関する情報をみんなで楽しみながら共有していく必要があります。

このことから「みんなが主役 環境を学んで楽しむプロジェクト」を重点プロジェクトとして定め、人材育成・活動支援等の取組を行います。

なお、令和2（2020）年10月に、本計画改定に向け実施した、メール等でのアイデア募集、ワークショップ、オンライン座談会（以下「市民ワークショップ等」という。）では、環境保全に対する市民の関心を高め、活動への参加を増やしてくれたためのアイデア、意見を数多くいただきました。それらは、各重点事業を進めていく中で取組に反映していきます。

目標

- 1 市が発信する環境情報をもとに全ての人が、積極的にその情報を共有します。
- 2 環境教育・環境学習を通じて、全ての人が楽しみながら環境を学び、持続可能な社会づくりに向けて進んでいきます。

重点事業

【施策5-①】環境意識の醸成

● ICTを活用した新たな環境情報発信方法の検討（p.89）

若い世代など、より多くの市民に環境情報を発信していくため、ICTを活用した新たな環境情報発信方法を検討します。具体的な内容は、市民ワークショップ等の意見例も踏まえ、検討していきます。

<市民ワークショップ等の意見例>

- ・市内の環境活動や、環境学習・保全活動に参加・体験できるスポットなどを紹介するマップや動画等を作成、発信
- ・市民の参考となる地球温暖化対策を見学、体験できる市民団体の活動や事業所、市の施設などの情報を収集し、発信

● 小中学生への環境活動機会の提供（p.90）

環境の大切さを啓発するため、市民団体が開催する催しや講座と連携して、次代を担う子どもたちが身近な自然や地球温暖化問題を学び、体験する場の充実を図ります。

【施策5-②】学びと活動体験機会の充実

●幅広い市民を対象とした環境イベントの開催 (p.92)

より多くの市民に対して、環境に対する興味・関心を高めてもらうことを目的として、市民ワークショップ等の意見例も踏まえ、工夫しながら環境イベントを実施します。

<市民ワークショップ等の意見例>

- ・身近な自然や省エネルギー，再生可能エネルギーの仕組みなどを親子で楽しみながら参加できる体験機会の創出
- ・深大寺・佐須地域などの里山[§]環境の魅力を市民に伝える情報発信やイベントの開催
- ・里山と環境美化，食とエネルギーの地産地消など，分野の異なるテーマを組み合わせる発信することによる幅広い市民の関心喚起

【施策5-③】活動の担い手となる人材育成と活動支援

●雑木林ボランティア講座[§]の実施による人材育成講座の実施 (p.95)

里山の保全に係る維持管理作業を学び、里山保全を継続して担える人材の育成に取り組めます。

●多摩川自然情報館におけるボランティア解説員養成講座の充実 (p.95)

展示物の解説やイベント運営を行うボランティア解説員を増やすため、広く募集を行うとともに、養成講座の充実を図ります。

【施策5-④】様々な主体と活動の環^わの拡大

●環境活動交流会の開催 (p.98)

環境活動に関わる団体の活動を紹介し、団体間や、団体と市民等との交流を図る場を設けます。

また、環境保全活動に関心のある市民、事業者と、実際に活動に取り組む人を、対面、オンラインなど様々な形でつなぐ機会の充実を図ります。

●広域的な環境保全活動に向けた他自治体等との連携 (p.99)

環境マネジメントシステム[§]に係る自治体間相互連携や、多摩川・野川の流域自治体と河川環境の保全に向けた協議・意見交換や連携した活動を展開するなど、自治体間等の広域的な連携を推進します。

また、東京都や国の事業、他自治体との連携を更に推進していきます。

【コラム】調布市環境基本計画の見直しにおける市民意見の反映

「調布市環境基本計画」（平成 28（2016）年 3 月）の改定及び「調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定に当たり、今後の環境に関する取組について市民の意見・アイデアを幅広く反映するため、約 1 年間にわたり、様々な手法で市民の意見を集めました。

段階的に意見の集約を重ねた結果、複数のテーマに共通して、「環境について子どもや若者が学ぶ機会、親子で体験できる機会の充実」、「様々な媒体を用いた市内の環境や環境活動に関する効果的な情報発信」、「相互に関連し合う環境問題を効果的に、かつ楽しみながら学ぶ場の提供」といった環境学習・環境教育に関わる視点から、多くの具体的なアイデアが出されました。

そこで、いただいたアイデアは主に「重点プロジェクト③ みんなが主役 環境を学んで楽しむプロジェクト」の見直しに反映し、今後の取組において工夫していく点として、いただいた意見例を掲載しました。

調布市環境基本計画の中間見直し等に関する市民アンケート調査
(令和元(2019)年10月)

調布市環境基本計画中間報告会
(みんなで語ろう ちょうふの環境のいまとこれから)
(令和2(2020)年1月25日)

調布市の環境に関する現状と課題、計画改定の視点の整理に反映

施策や取組の見直し

令和2(2020)年10月に実施した市民参加

メール等でのアイデア募集

対面型ワークショップ

オンライン座談会

これまでの取組や新たな環境問題等を踏まえたテーマ設定の視点

持続可能な社会の実現に向けた取組の促進

地球温暖化対策をめぐる動向への対応

調布市の特性とこれまでの取組

市民、事業者の行動の更なる促進

意見募集を行った3つのテーマ

里山^S環境の保全

ストップ地球温暖化！
新しいライフスタイル

環境保全活動の体験

環境学習・環境教育に関わる視点から多くのアイデアが出されたことから、「重点プロジェクト③ みんなが主役 環境を学んで楽しむプロジェクト」の見直しに反映